

大阪府立藤井寺高等学校学校運営協議会 議事録

校名	府立 藤井寺高等学校
校長名	水元 誠致

開催日時	令和 6年 3月 25日(月) 14:00～16:00
開催場所	本校3F会議室
出席者(委員)	坂井会長 北村委員 藤井委員 若林委員 宇野委員
出席者(学校)	水元校長 川本教頭 他12名
傍聴者	なし
協議資料	令和5年度 大阪府立藤井寺高等学校 第3回学校運営協議会 実施要項 資料1 令和5年度 学校経営計画及び学校評価 資料2 令和6年度 学校経営計画及び学校評価 資料3 働き方改革の取組みについて 資料4 進路指導部総括 資料5 総務部状況報告 資料6 生徒指導部状況報告 資料7 保健部総括 資料8 広報活動について 資料9 総合的探究の時間報告 資料10 第3学年状況報告 資料11 第2学年状況報告 資料12 第1学年状況報告 資料13 学校教育自己診断アンケート結果
備考	
議題等(次第順)	
校長より	令和5年度 学校経営計画及び学校評価(資料1) 令和6年度 学校経営計画及び学校評価(資料2) 働き方改革の取組みについて(資料3)
進路指導部	令和5年度総括(資料4)
総務部	令和5年度状況報告(資料5)
生活指導部	令和5年度状況報告(資料6)
保健部	令和5年度総括(資料7)
広報活動について	令和5年度報告等(資料8)
総合的探究の時間	令和5年度報告(資料9)
各学年主任	各学年の状況報告(資料10、11、12)
学校教育自己診断アンケート	令和5年度結果報告(資料13)
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
校長より	資料1、2、3 (令和5、6年度学校経営計画) ・中期的目標については、3年程度をスパンとして策定しているため、R6年度も大きな変更はしていない。今後は結果を見て変更することも検討しなければならない。 (学校評価) ・授業改善→授業アンケートは過去最高の評価結果であった。多くの生徒が満足していると判断できる。 ・働き方改革 ①R4年度に観点別評価が導入されたことにより、R3年度より業務量が増加した。R4年度に比べると改善されている。 ②職場でのストレス⇒ストレスチェックの結果より、リスクのすくない職場が実現できていると判断できる。 ③同僚間の支援に問題が見られる⇒職員の福利構成企画を実施するなど改善に努めている。
進路指導部	令和5年度総括 資料4(坂本進路部長) ・50期生:ベネッセ総合学力テストに204名が受験した。ここ数年に比べ生徒の受験人数が増加しており、進路意識の高い学年となっている。 ・49期:連動課題配信を行うことで、学習習慣をつけさせることができた。成績中間層の伸び悩みが見られ、学習を促す取り組みをさらに行っていく必要がある。 ・48期:大学進学者は52%であり、過半数を超えた。ここ数年進学していない大学や短期大学を志望する生徒がいたことが特徴である。

# 大阪府立藤井寺高等学校学校運営協議会 議事録

総務部 令和5年度状況報告	資料5 (藤島総務部長)
<p>(PTA活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>PTA活動を合理的に整理し、保護者学級委員を廃止した。</li> <li>メルマガについて、今まではメールのみだったが、アプリからでも利用可能になった。(ID・パスワードが必要)</li> <li>(奨学金関係)</li> <li>大学予約奨学金は、R5年度申請者が約73%、R4年度が約74%と例年7割以上を占めている。</li> <li>(式典関係)</li> <li>始業式・終業式を全5回中4回をオンラインで実施。</li> <li>メリット ①話している教員や生徒を画面に大きく映すことができるため臨場感がある。</li> <li>デメリット①行事としての一体感に欠けるとの指摘がある。</li> </ul> <p>今後も実施方法について検討していく。</p>	
生活指導部 令和5年度状況報告	資料6 (中尾生徒指導部長)
<p>(生活指導関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>総遅刻数3000件以下を目標にしていたが結果は約3500回を上回った。コロナ禍の影響を受けた48期生は心身に不調を抱える生徒が多かった。</li> <li>懲戒指導は前年度より大幅に減少した。</li> <li>(生徒会関係)</li> <li>全体の部活動入部率は69.1%となった。50期生の傾向としては文科系クラブへの入部率が10%増加している。</li> <li>フェスティバル文化の部においてはコロナ前の形態に戻った。学校教育自己診断アンケートにおける「フェス体・フェス文等の行事は楽しい」という項目では、95.5%(前年度比+4.5%)の生徒が肯定的な回答をしている。</li> </ul>	
保健部 令和5年度総括	資料7 (堀内保健部長)
<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒来室数は1500件近い。養護教諭、保健部長が常に保健室に常駐しており、生徒が気軽に利用できる環境を整えている。</li> <li>専門家によるカウンセリングは年間13回実施されている。家庭における悩みが学校生活に影響を及ぼしていることもあると考えられる。</li> </ul>	
広報活動について 報告等	資料8 (吉岡首席)
<ul style="list-style-type: none"> <li>年間3回行っている学校説明会は、昨年度に比べて参加人数が増加した。2回目の学校説明会では「開催時間が短い」、「もっと長くしてほしい」との意見があった。</li> <li>藤井寺北小学校との交流 <ul style="list-style-type: none"> <li>①放課後に高校生が宿題や遊びの指導をするというボランティア活動を継続的に行っている。</li> <li>②藤北フェスタではダンス部・フォークソング部が参加した。</li> </ul> </li> <li>四天王寺大学との高大提携⇒看護学部と教育学部の授業体験。</li> </ul>	
総合的探究の時間 令和5年度報告	資料9 (江口総合企画委員長)
<ul style="list-style-type: none"> <li>総合型選抜を受験する生徒の増加を想定している。課題発見、原因解明、解決方法の模索をSDGsと絡めながら、生徒自身が主体的に学習に取り組むよう促している。</li> <li>生徒評価では90%以上が肯定的に評価している。</li> </ul>	
1学年 状況報告	資料10 (竹内1年学年主任)
<ul style="list-style-type: none"> <li>進学を意識した指導を日ごろから行っている。各教科において放課後に講習・個別指導を実施した。2月に行われた希望者のみの模試では学年全体の86%が受験した。</li> </ul>	
2学年 状況報告	資料11 (林2年学年主任)
<ul style="list-style-type: none"> <li>スタディーサプリの運動課題配信を利用することによって、家庭学習の意識付けをしたり、定期考査に向けた目標設定をするなど学習意欲の向上に努めた。</li> </ul>	
3学年 状況報告	資料12 (南浦3年学年主任)
<ul style="list-style-type: none"> <li>英検に関しては2級が3人、準2級が4人合格した。</li> <li>定期考査前に「考査参考動画」を配信し、考査対策に役立てることができた。</li> </ul>	
学校教育自己診断アンケート 令和5年度結果報告	資料13 (中尾首席)
<ul style="list-style-type: none"> <li>49期生の回答で「担任の先生以外にも相談することのできる先生がいる」の項目では昨年度62.8%だった肯定的回答が、今年度は80.8%に増加している。これは校長主導で行われている働き方改革によって、教員が生徒と関わる時間にゆとりができた結果であると考えられる。</li> </ul>	
各委員より	(学校運営協議会 委員)
<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>藤高の生徒はすれ違う際、いつも挨拶をしてくれる。良い習慣になっている。</li> </ul> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>卒業式に参列したが、卒業生の卒業証書を手渡す際の返事と歌の音量が小さかったように思う。</li> </ul> <p>⇒返事については特別な指導はしていない。生徒の状況も様々であり、マスクを着用している生徒もあり、中には大きな声を出すことに抵抗を感じている生徒もいる。歌の音量に関しては、難しい楽曲であったことや練習時間の不足が影響していた。</p>	
<p>次回の会議日程</p>	
日時	令和6年 6月 ごろ
会場	本校3F会議室